

私は、六諭会を代表して、請願第1号野田市における土曜授業中止を求める請願に対し、野田市内の子供たちの学力の現状を知っていただくために、あえて賛成の立場で討論させていただきます。

野田市の土曜授業は、当初、下岡元教育長が子供たちに義務教育で学力をつけさせるべきところを、何も手を打たずに卒業させるのは無責任と市議会で述べられ憂い、後の東條元教育長のと時から、野田市内の小中学生の学力向上を目的に始められました。しかし、その目的も、学力向上に資する授業から、地域の特性を生かした授業を、平日の授業の延長線上で有効な授業を、そして令和6年度は、土曜ならではの地域や保護者等にかかれた授業を、と目的も変化してきており、5回から8回までと年間実施回数も減ってきました。

令和5年1月の土曜授業アンケートでは、小中学生とも土曜授業を続けていくために困っていることの上位には、疲れが取れない、学校に行きたいという気持ちが湧いてこない、家族との時間が取れない、予定が合わないという結果でした。

また、土曜授業の全国実施状況は、2018年の26.3%から2022年は11.3%と減少しており、土曜授業の廃止の背景として、土曜日は習い事などで欠席する生徒が多く、現場からは全員そろった状態での学習が困難との指摘があります。さらに、教職員の振替休日取得が難しく、先生方への負担がかかってしまうことも課題である。こうしたことが理由で、土曜授業を廃止する地域や学校が増えているのが現状です。

したがって、一つ目は土曜授業を中止し先生方への負担を軽減して本来の通常授業に力を注げるようにすること、二つ目は生徒の親に現状と家庭学習の重要性を知ってもらいもっと協力していただくこと、三つ目は基礎学力不足の生徒には、学童保育、子ども未来教室等のサポートを受けさせることが学力の向上につながると思います。以上の理由により、我々六諭会はこの野田市における土曜授業中止を求める請願に賛成いたします。